

第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年度 総合評価シート

■基本目標 I：安定した就業の場を増やす・基盤となる人材の育成と活躍を支援する

数値目標	2018 (H30)	2020 (R02)	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	目標数値設定の考え方	担当課
	年度末実績 (総合戦略策定時)	上段：年度末目標目安						
		下段：年度末実績						
20歳から64歳における就業率	85.0% (R1市民アンケート数値)	—	85.5% (R3市民アンケート数値)	—	85.5% (R5市民アンケート数値)	86.0% (R7市民アンケート数値)	【2024(R06)目標値】 令和元年度市民アンケートでは、回答者680人のうち就業者は578人であった。人口減少に伴い就業人口も減少すると思われるが、安定した雇用環境を整備しつつ、就業者数の増加を図るため86%を目標値として設定。	企画政策課
		—	88.4% (R3市民アンケート数値) ※速報値	/	/	/		

総合評価	B+	推進会議 総括	<p>基本目標 I：「安定した就業の場を増やす・基盤となる人材の育成と活躍を支援する」はアンケート未実施年であり、数値目標での評価は困難であるため、達成に向けた取り組みを中心に評価する。構造的な問題を抱える領域は有するものの、COVID-19拡大の制約下において、多くの事業で対応できることに取り組めたと判断できる。</p> <p>「農業の競争力強化」については、農業の高齢化が認定農業者数の減少に結びついており、各種支援制度の周知に一層力を入れるとともに、関係機関と密に連携し、移住者による就農や女性農業者などこれからの農業を担う人材の確保や育成、定着に向けたフォローが必要である。</p> <p>「地場産業の活性化」については、コロナ禍により企業が投資を控えたこと、予定していた事業が実施できなかったことが響いた。その中でもできるもの産業にあっては企業の努力により、クリーニングや染め直し、撥水加工、リメイクなどの加工需要の拡大がなされ、令和2年度売上額が98億5,900万円と2年前に比べ9%増収したこと、また十日町産品全体では、地域商社の販売力強化により、これまで培ってきた友好都市との関係から、受注が増加したことは評価できる。コロナ禍の継続に備え、県内客への産業観光や関係人口へのPRなどの施策、取り組み支援に尽力されたい。</p> <p>「新規創業・新分野への支援」にあっては、新規創業件数が年度末目標を大きく上回り、継続してきた取り組みや支援が有効に機能していることが窺える。</p> <p>「基盤となる人材・組織の育成」は、寄附額や高校生の地元就職意向も年度末目標を上回っており、今後も関係先との連携による事業の展開に期待する。</p>
------	----	------------	--

■基本目標 II：地域の魅力を更に磨き、選ばれるまちを目指す

数値目標	2018 (H30) 年度末実績 (総合戦略策定時)	2020 (R02)	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	目標数値設定の考え方	担当課
		上段：年度末目標目安						
社会動態	△472人 (H26～30 年度平均)	△466人 (R02年度)	△460人 (R02～03年 度平均)	△454人 (R02～04年 度平均)	△448人 (R02～05年 度平均)	△442人 (R02～06年 度平均)	【2024 (R06) 目標値】 基準数値から移住・定住の推進、転出抑制のための 取組等により、毎年の社会動態を10人減少させ、5 年間で合計30人の社会動態による人口減少抑制につ なげる。	企画政策課
		△307人 (R02年度)						
交流人口	260万人 (H26～30年 度平均)	230万人	290万人	240万人	240万人	260万人 (R02～06年 度平均)	【2024 (R06) 目標値】 大地の芸術祭第9回展のR6年度を目標300万人と し、平均値を算出。基準数値を維持。	観光交流課
		167万人						

総合評価	B+	推進会議 総括	<p>基本目標II：「地域の魅力を更に磨き、選ばれるまちを目指す」の目標値の達成状況は、いずれもCOVID-19の影響を受けて数字の増減が出たことが窺える。</p> <p>「都市部からの移住定住促進」にあつては、複数の事業を重層的に実施したことにより、移住者増に繋がった。今後もターゲットに基づき、適切な施策の実施が望まれる。また、地域おこし協力隊定着に向け、今後もミスマッチを防ぐとともに、その積極的な活用とメンタリング*を継続されたい。</p> <p>「地域の魅力を活かした交流の促進・世界への発信」では、いずれもCOVID-19によって目標達成に負の影響が出た中で、制約下においてできる範囲の取り組みを行い、アフターコロナに向けた種蒔きを行えたと認識できる。今後も感染症やワクチン接種率の状況を見ながら、アフターコロナのライフスタイルを見据えた誘客を実施して欲しい。</p> <p>「郷土愛の育成・十日町ファンの拡大」においては、キャリア教育の推進により、高校生の地元就職意識の醸成が図られている。今後は中学生の頃から啓発する取り組みを今まで以上に進めて欲しい。関係人口では、地域の特産品の購入者やふるさと納税寄附者が増加となり、これまで築き上げてきた縁が生きたとと思われる。今後はより一層、CRM(カスタマーリレーションシップマネジメント)*の仕組みを整え、交流人口から関係人口の拡大へと結びつけることを期待する。</p>
------	----	------------	---

*メンタリング……経験豊かな人が、若年者や未熟者と定期的・継続的に交流し、対話や助言によって本人の自発的な成長を支援すること

*CRM……特定の顧客との関係を継続的に築き上げ、その結果として売上げや利益、さらには価値を向上させる手法

■基本目標 III：結婚・出産・子育て環境の充実・誰もが活躍できる社会を実現する

数値目標	2018 (H30)	2020 (R02)	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	目標数値設定の考え方	担当課
	年度末実績 (総合戦略策定時)	上段：年度末目標目安 下段：年度末実績						
出生数	327.2人 (H26～30年 平均)	300人 (R02年)	300人 (R02～03年 平均)	300人 (R02～04年 平均)	300人 (R02～05年 平均)	300人 (R02～06年 平均)	【2024 (R06) 目標値】 年々出生数が減少する中で、妊娠・出産・子育て支援や結婚促進により、出生数を維持することを目標とする。	企画政策課 健康づくり推進課
		243人 (R02年)						

総合評価	B+	推進会議 総括	<p>基本目標III：「結婚・出産・子育て環境の充実・誰もが活躍できる社会を実現する」にあっては、全国的にコロナ禍による先の見えづらい状況にある中で、十日町市でもそれに漏れず、目標の達成に至らなかったことが窺える。</p> <p>「男女の出会いや結婚の支援の充実」の成果も同様の状況にある。マッチングの仕方に工夫を凝らすとともに、カップルへの支援の充実と周知が望まれる。</p> <p>「出産・子育て環境の整備・充実」にあっては、児童センターの開設による効果が見受けられた。今後も市民の要望やニーズに基づいた子育て環境の整備や充実に取り組まれない。</p> <p>「合計特殊出生率」については、県内でも高い数値を示しているが、今後も妊娠期から子育て期の個々のニーズに応じた切れ目のない支援の継続と相談体制の充実が必要である。</p> <p>「誰もが活躍できる社会の実現」にあっては、これまでの取り組みが功を奏し、ハッピーパートナー企業登録数や障がい者の実雇用率の目標を達成した。今後も企業への各種助成制度の周知や、障がい者の特性を活かした訓練機会の提供を進められたい。</p> <p>「外国人登録者数」はコロナ禍の影響もあり目標は未達であったが、第2期総合戦略に掲げたとおり、十日町における外国人の活躍機会を絶え間なく創出していくことが望まれる。</p> <p>これらをもって、十日町市における地域共生社会づくりやダイバーシティとインクルージョン*（多様性と包摂）の一層の促進に期待する。</p>
------	----	------------	--

*ダイバーシティとインクルージョン……多様な人材を受け入れ、それらの人々が自身の多様性を活かしつ、最大限に能力を発揮できる仕組み

■基本目標 IV：安心して暮らせる時代に合った地域をつくる

数値目標	2018 (H30) 年度末実績 (総合戦略策定時)	2020 (R02)	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	目標数値設定の考え方	担当課
	上段：年度末目標目安 下段：年度末実績							
「住み続けたい」と思う人の割合	63.6% (R1市民アンケート数値)	—	64.0% (R3市民アンケート数値)	—	64.5% (R5市民アンケート数値)	65.0% (R7市民アンケート数値)	【2024 (R06) 目標値】 R1市民アンケートでは、回答者1,065人のうち「住み続けたい」と回答した人は677人であった。選ばれて住み継がれるまちを目指し、目標値を65%と設定。	企画政策課
		—	67.3% (R3市民アンケート数値) ※速報値					

総合評価	B	推進会議 総括	<p>基本目標IV：「安心して暮らせる時代に合った地域をつくる」は、アンケート未実施年であり、数値目標での評価は困難であるため、達成に向けた取り組みを中心に評価する。</p> <p>「新しい時代の地域づくり」では、再生可能エネルギーの創出量の目標が未達であった。今後、エネルギー施設の開所、竣工が控えることから、着実な創出量の増加に期待したい。未来技術を活用した新たな取り組みの推進にあっては、目標を達成しているが、オンラインサービスの一層の推進や行政サービスの充実、サービスの加入率が低い層への加入促進などの取り組みを進める必要がある。</p> <p>「安心して暮らせる地域づくり」にあっては、克雪対策の事業が概ね目標を達成していると判断できる。地域の要望や状況を踏まえ、冬期も安全安心に暮らせる地域としての取り組みを進められたい。地域包括ケアシステムでは、地区の選定と協議体設置に向けた合意形成が図られ、予定どおり計画の進捗がなされた。引き続き丁寧な調整を進めることで、十日町市において持続可能な生活体系が整備される地域が増えることを期待する。</p>
------	---	------------	--